

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2005-200419(P2005-200419A)

【公開日】平成17年7月28日 (2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2005-9439(P2005-9439)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/427 (2006.01)

A 6 1 K 31/366 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 309/30 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/427

A 6 1 K 31/366

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 D 309/30 D

C 0 7 D 417/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月9日 (2008.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効量のメバロン酸経路阻害剤および有効量のペルオキシソーム増殖剤応答性受容体アゴニストを含む癌治療用組成物。

【請求項 2】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがピオグリタゾンである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

メバロン酸経路阻害剤が 3 - ヒドロキシ - 3 - メチルグルタリル - C o A 還元酵素阻害剤である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

3 - ヒドロキシ - 3 - メチルグルタリル - C o A 還元酵素阻害剤がスタチン化合物である、請求項 4 に記載の組成物。

## 【請求項 6】

スタチン化合物がロバスタチンである、請求項 5 に記載の組成物。

## 【請求項 7】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンである、請求項 6 に記載の組成物。

## 【請求項 8】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがピオグリタゾンである、請求項 6 に記載の組成物。

## 【請求項 9】

スタチン化合物がシンバスタチンである、請求項 5 に記載の組成物。

## 【請求項 10】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンである、請求項 9 に記載の組成物。

## 【請求項 11】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがピオグリタゾンである、請求項 9 に記載の組成物。

## 【請求項 12】

癌が、神経膠腫、血管肉腫、肺癌、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、または肺癌である、請求項 1 に記載の組成物。

## 【請求項 13】

有効量のメバロン酸アンタゴニストおよび有効量のペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストを含む癌治療用組成物。

## 【請求項 14】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタゾンである、請求項 13 に記載の組成物。

## 【請求項 15】

癌が、神経膠腫、血管肉腫、肺癌、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、または肺癌である、請求項 13 に記載の組成物。

## 【請求項 16】

メバロン酸経路阻害剤、ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニスト、およびその薬学的に許容可能な担体を含む、薬学的組成物。

## 【請求項 17】

抗癌剤をさらに含む、請求項 16 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 18】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタゾンである、請求項 16 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 19】

メバロン酸経路阻害剤が 3 - ヒドロキシ - 3 - メチルグルタリル - C o A 還元酵素阻害剤である、請求項 16 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 20】

3 - ヒドロキシ - 3 - メチルグルタリル - C o A 還元酵素阻害剤がスタチン化合物である、請求項 19 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 21】

スタチン化合物がロバスタチンまたはシンバスタチンである、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

## 【請求項 22】

メバロン酸アンタゴニスト、ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニスト、およびその薬学的に許容可能な担体を含む、癌を治療するための薬学的組成物。

## 【請求項 23】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタ

ゾンである、請求項 22 に記載の薬学的組成物。

【請求項 24】

有効量の抗癌剤、有効量のメバロン酸経路阻害剤、および有効量のペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストを含む抗癌剤の効力を高める組成物。

【請求項 25】

メバロン酸経路阻害剤が 3 - ヒドロキシ - 3 - メチルグルタリル - CoA 還元酵素阻害剤である、請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 26】

3 - ヒドロキシ - 3 - メチルグルタリル - CoA 還元酵素阻害剤がスタチン化合物である、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 27】

スタチン化合物がロバスタチンまたはシンバスタチンである、請求項 26 に記載の組成物。

【請求項 28】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタゾンである、請求項 27 に記載の組成物。

【請求項 29】

有効量の抗癌剤、有効量のメバロン酸アンタゴニスト、および有効量のペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストを含む抗癌剤の効力を高める組成物。

【請求項 30】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタゾンである、請求項 29 に記載の組成物。

【請求項 31】

有効量の癌化学療法剤および有効量のペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストを含む癌化学療法剤の効力を高める組成物。

【請求項 32】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタゾンである、請求項 31 に記載の組成物。

【請求項 33】

細胞周期をダウンレギュレートする方法であって、細胞をメバロン酸経路阻害剤およびペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストと接触させる工程、または細胞をメバロン酸アンタゴニストおよびペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストと接触させる工程を含む方法。

【請求項 34】

メバロン酸経路阻害剤がスタチン化合物である、請求項 33 に記載の方法。

【請求項 35】

スタチン化合物がロバスタチンまたはシンバスタチンである、請求項 34 に記載の方法。

【請求項 36】

ペルオキシソーム増殖剤応答性受容体 アゴニストがトログリタゾンまたはピオグリタゾンである、請求項 35 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の別の態様は、癌（例えば、神経膠腫、血管肉腫、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、または肺癌）を治療するための組成物である。この組成物は、有効量の PPAR アゴニストと有効量のメバロン酸経路阻害剤またはメバロン酸アンタゴニストとを含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明のさらなる態様は癌化学療法剤の効力を高める組成物である。この組成物は、有効量の癌化学療法剤および有効量の PPAR アゴニストを含む。この組成物はまた、有効量のメバロン酸経路阻害剤またはメバロン酸アンタゴニストを含んでもよい。